

みんなで一歩 ～チャレンジ・つながり～

令和8年(2026年)6月29日

豊中市立桜井谷小学校

学校だより No.5

校長 渡部 潤也



<6月に行った主な行事②>

6月10日(水) 今年2回目のお話するDAYがありました。ペア学級の友だちとペアになって、テーマにそってじっくりお話をする時間です。普段あまり話す機会のない相手とも向き合って話せるので、毎回ちょっと緊張しつつも楽しみにしている子が多いようです。

今回のテーマは「雨の日の過ごし方」。話す側も聞く側も、相手の言葉にうなずいたり、質問を返したりしながら、落ち着いた雰囲気での交流ができました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

6月17日(水) 5年生の林間学舎1日目スタートしました。今年から琵琶湖のほとりにあるマキノパークホテルに行くことになり、子どもたちも朝からわくわくした表情です。

みんなで話し合っただけで決めた今年のテーマは「ROAD みんなが100%主役の林間学舎」。その言葉どおり、一人ひとりが主役になれるような活動がたくさん詰まった2日間の始まりです。

初めての活動は、魚つかみ体験。慣れてくると、魚を追いかけて大はしゃぎ。つかまえた魚はその場で焼いてもらい、おにぎりと一緒にいただきました。自分の手でつかまえた魚の味は格別で、どの子も満足そうな表情でした。



午後は本来ならいかだ体験の予定でしたが、湖上の風速が基準を超えていたため、安全を考えて中止に。残念がる声もありましたが、すぐに気持ちを切り替えて、代替りの活動として焼き板づくりに挑戦しました。木の板に絵や文字を描いていく作業は集中力が必要で、みんな真剣そのもの。世界に一つだけの作品が完成しました。

さらに、予定していたアイスクリーム作りも実施。材料を入れてひたすら転がす作業に苦戦しながらも、できあがった冷たいアイスを食べた瞬間、疲れも吹き飛ばすよう

な笑顔が広がりました。



夜には、幻想的なキャンドルファイヤーが行われました。はじめに、みんなで「遠き山に日は落ちて」を歌いました。歌の途中、火の神がゆっくりと登場。会場全体が少し微妙な雰囲気になりましたが、火の神が火をつけていくたびに歓声が起こりました。

その後は一転して、クラスごとの出し物タイム。ダンスや劇、クイズなど、どのクラスも工夫を凝らした発表で大盛り上がり。笑い声と拍手が絶えず、みんなが心から楽しめる夜となりました。

6月18日（木） 5年生の林間学舎2日目が始まりました。朝は6時半から「朝の集い」。少し眠たそうな表情の子もいましたが、だんだんと目が覚めてきました。続いてラジオ体操、そして琵琶湖のほとりを歩くレイクウォークへ。さわやかな風ときらきらした湖面に感動しながら、気持ちのよい1日のスタートとなりました。



9時半からは、みんなが楽しみにしていたカレー作り。包丁で野菜を切るときは慎重に作業を進め、火を使う場面では自然に協力し合う姿が見られました。できあがったカレーは、どの班も本当においしくて、達成感いっぱいの昼食になりました。

いろんなことに「チャレンジ」し、多くの友だちと「つながった」2日間となりましたね。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

<4年生の車いす体験>



6月18日（木）には、野畑小学校の中田先生をお招きし、車いすでの生活や思いについてお話をさせていただきました。中田先生は、車いすを使いながら教師として子どもたちの前に立ち続けている方です。実際の経験を交えながら語られる言葉には説得力がありました。

特に、「相手の人がどう思っているかを考えて行動してほしい」という言葉は、多くの子どもたちの心に強く残ったようです。困っている人を見かけたとき、ただ助けるのではなく、その人の気持ちに寄り添うことの大切さを教えていただきました。そして、24日（水）には、実際にみんなで車いす体験を行いました。体験を通して、子どもたちは車いすを使う人の気持ちに少し近づくことができたようです。学びの多い、貴重な時間となりました。

